

発 言 通 告 書

| | |
|---------|--------------------------------|
| 発言者氏名 | 嘉山淳平 |
| 発言の会議 | 令和元年 9月18日 本会議 |
| 発言の種類 | 質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他 |
| 質疑等の方式 | 一 括、 <u>一問一答</u> |
| 答弁を求める者 | 市 長、教育長 |

【件名及び発言の要旨】

1 愛らんどのさらなる充実による子育てしやすいまちへ

- (1) 先日会派で全箇所を視察したが、愛らんどは開設以来、市民の認知度も上昇し、想像以上に利用者が多く、親子の満足度も高いということがわかった。未就園児とその親にとっての愛らんどの有用性をどのように考えているか、市長に伺う。
- (2) 子育てアドバイザーが配置された愛らんどでは、親子利用者が飛躍的に伸びたと聞いている。唯一無人となっている愛らんど田浦に、早急に子育てアドバイザーを配置すべきと考えるが、市長はこの課題に対処する必要性をどう考えるか。
- (3) 愛らんど内にある乳幼児へ離乳食を与えられるスペースでは、親の飲食は不可となっている。愛らんど内にパーティションを設置するなどの工夫をし、親子で一緒に食事をとれるスペースを提供すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

2 妊活支援体制の強化に向けて

- (1) 過去に一般質問で取り上げた妊活施策が広がりを見せ、市民からうれしい声も耳にする。2019年からスタートした不妊不育

専門相談センターにおける相談者数の推移と、同相談センター設置によってどのような効果が出ているのか、市長に伺う。

(2) 本市職員に対する妊活支援について

ア 本市職員が、妊活による不妊治療の精神的・肉体的な苦痛から、仕事と治療が両立できずに離職してしまうおそれがあることについて、市長はどのような課題認識を持っているか。

イ 頻繁な通院が必要となる不妊治療に通う職員を支援する必要性について、市長はどのように考えているか。

ウ 妊活に要する通院日数や通院時間を考慮すると、現行では適当な休暇制度が存在しないため、「妊活休暇制度」を導入すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

3 市民協働モデル事業3年目を迎える小学校における環境教育の予算化について

(1) 市民協働モデル事業として、小学校の総合学習の時間に環境学習が実施され、教職員からの満足度も高く、児童の環境教育へのよい実施機会にもつながっていると認識している。これまで同モデル事業で実施してきた小学校における環境教育をどのように評価しているか、市長と教育長に伺う。

(2) 市民協働モデル事業は試験的に市民の力を借りながら実施しているため、事業評価をきちんと実施し、市として委託事業化するのか、あるいは事業自体終了とするのかという道筋をつけることが、モデル事業の本来の目的であると感じている。同モデル事業で実績を上げ反響が大きかった事業については、しっかりと予算化すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

(3) 本市が市民協働モデル事業として選定した事業については、市民協働として効果を最大化できるようにコーディネートすることが重要だと考える。同モデル事業における本市のサポート体制を改めて見直し、強化していく必要があると考えるが、市長の考えを伺う。